

新しい価値を創造する専門家集団へ

1月からHD体制がスタート

福島宏治 福山コンサルタント社長

―昨年11月、北九州本社を小倉北区片野新町から同区鍛冶町に移転されました。

福島 旧社屋は1969年の

建設で50年近くが経過しており、老朽化と耐震性の問題があったことに加え、全国各地や地域顧客とのアクセスの改善を図る狙いです。自己資金を投じ、国道199号沿いのオフィスビルを1棟取得しました。働きやすい環境を整備し、生産力の向上につながればと思います。

管理機能は福岡本社にありますが、北九州は当社の創業地であり、今も「北九州本社」として重要な生産拠点です。主要顧



客である北九州市役所など市内の関係機関も近くなるので、業務サービスの向上を図っていきたいですね。

―新年はいよいよ持ち株会社体制がスタートしますね。

福島 はい。1月4日に設立する㈱FCホールディングスの傘下に福山コンサルタントのほか㈱環境防災、㈱HMB、福山ビジネスネットワーク㈱を置くグループ4社体制です。「FC」にはFounder's Consultants（新しい価値を創造する専門家集団）という意味が込められています。17年6月期中に事業会社を再編成し、異なる技術分野を含めた連携強化に取り組み方針です。新領域としてはICT、金融・保険分野などを想定しており、M&A、業務提携、合併などで今後2〜3社増やすことになるでしょう。

―4年目を迎えた第3次長期

プランの進捗よく状況は。

福島 HD体制移行の計画は、創業70周年を迎える最終年の19年度に予定していましたが、2年前倒しの達成となりました。着実に結果が出てきており、手ごたえを感じています。

また昨年3月に福山ビジネスネットワーク㈱を設立し、グループ各社の一体的な研究開発、商品化を促進するための技術研究機能強化と各社の管理部門を中心とした間接業務集約による効率化を図ったことで、事業継続性強化と企業価値向上に向けたプラットフォーム機能を整備しました。

前期から取り組んでいる新規事業もモニタリング事業が本格化し、橋梁点検ロボットなど新商品開発が進行中です。内水氾濫監視システムを用いた水位の常時観測も開始しました。新規ビジネス領域は19年6月期に

売上比率3割が目標です。5億円の投資計画で今後も研究開発に力を入れ、集団としての進化を図っていきます。受注高ペーシングでは前期で100億円を突破し、増加基調で推移しています。中核事業が好調なうちに先を見据えた投資を推進する構えです。

―人材育成については。

福島 入社3年目、5年目の全社員対象に、人事交流を実施しています。全国展開を基本に部門の異動を行うことでさまざまな経験を積み、人間的幅を広げることが狙いです。自身も積極的に各拠点へ足を運び、現場の声を拾っています。定着率も向上しており、成長の実感があります。技術系社員に対しては、技術士資格の取得支援を制度化しています。現在87%が取得済みで、これは業界内でも高い水準です。今秋をめどにMBA取得支援制度を導入予定で、将来の幹部候補育成に注力します。今年の干支「酉（とり）」は成熟、収穫という意味を表します。挑戦からの結果を得る一年にしていきたいですね。